

公益事業報告

教派神道連合会 震災災害復興

祈願祭・公開講演会を開催

東日本大震災から九ヶ月の昨年十二月十一日、東京都港区の神道大教院にて、本教が加盟している教派神道連合会主催で「震災災害復興祈願祭」と、「いのちの重さを考える3」と題した公開講演会が開催されました。祈願祭は明治期に教派神道の前身の神道事務局が置かれた大教院霊殿を斎場に行われ、斎主の神道大教木村剛正管長殿が祈願詞を奏上、震災当日発生時刻の午後二時四十六分を期に、加盟の各教派管長教主代表や共催団体の宗教者災害支援連絡会（宗援連）関係者はじめ参加者全員で黙祷し、静かに被災者の鎮魂と復興の祈りを捧げました。



公開講演会では、「祈り」よりその心をテーマに宗援連代表の島嶼進東京大学教授と江森敬治毎日新聞編集委員が講師となり、島嶼氏からは震災で宗教施設が避難所や支援物資の集積所になるなど地域社会でその機能が十分発揮された事例を挙げ、今後の復興に際しても宗教者の協力が重要であると述べ、また宮内庁記者クラブに所属し皇室関係の著書もある江森氏は、天皇皇后両陛下が国民に寄りそい祈りを捧げられるお姿に触れ、両陛下のお見舞いが被災者の復興への大きな心の支えとなっていると話されました。本教から教嗣殿、宍野史生参元、嶋田和征教務部長、生沼邦彦教議員、武山震災支援対策事務所長をはじめ数十名が参加しましたが、多

くの方から「大変有意義な祈りの時を共有でき、これからの活動にも期待をしています」という感想を頂いています。本教は今後も被災者への継続的な支援と教派神道連合会の「いのちの重さ」を考える活動に協力して行きます。



2・23 富士山の日 制定記念式典

二月二十三日を「富士山の日」に制定した山梨県は、富士吉田市のハイランドリゾートホテルで制定記念式典を開催し、本教から宍野参元が参列しました。約千名の参加者で埋め尽くされた式典では世界文化遺産登録を目指して、山梨・静岡両県はもろろん民間団体も多数賛同して積極的な展開を図るといふものです。

鹿兒島教区巡教予定

本部では毎年四月に九州教区の巡教を行っています。本年も四月中旬から下旬に九州各教区の教会・神事所を本部宣教使の教嗣殿が巡教の予定です。中でも四月二十八日から三日間にわたって「神道祭作法講習会」が開催されますのでぜひご参加下さい。お問い合わせは各教会長までお願いします。

「神道祭作法講習会」 予定 期日四月二十八日（土）～三十日（祝）、鹿兒島市「敬天閣」にて開催、内容「神葬祭・地鎮祭等の諸祭式を中心にしたもの」、参加費ひとり一万三千元（各資料、昼食と諸経費含む）



平成 25 年度國學院大學神道文化学部入学試験

オープンキャンパス		神道・宗教特別選考入試(宗教文化コース)		
区分	日程	試験名	試験日	試験内容
春のオープンキャンパス	5月13日(日)	神道・宗教特別選考	9月22日(祝・土)	(1)小論文(1000字程度)60分 (2)面接20分
夏のオープンキャンパス	7月15日(日)・16日(祝・月) 8月25日(土)・26日(日)			
秋のオープンキャンパス	9月23日(日) 10月28日(日)			

\*出願条件:原則として神道系の宗教団体の子女で、将来、宗教団体の継承者となる者、または宗教団体の包括化の教会の継承者となる者。

詳細は國學院大學ホームページをご参照するか、または本学入学課にお問い合わせ下さい。

「扶桑」発行元

扶桑教大教庁

〒156・0043

東京都世田谷区松原

一七二一

電話 03(3321)0238